

北の鉄路 NEWS/

発行：北の鉄路存続を求め
る会 事務局

2018年3月15日 No6

北の鉄路存続を求めるとる会 http://akarui.xsrv.jp/?page_id=734/ ☎011-820-3131 FAX011-820-3132

道内鉄道存続へ「道民署名」

北海道の鉄路が危機です。

JR 北海道が道内鉄路の半分 10 路線 13 区間を「JR 単独では維持困難」とし、自治体に事実上不可能な負担を求める「上下分離」や「バス転換」などに向けて協議したいと発表していらい論議が重ねられてきた JR 問題ですが、高橋知事も参加する JR 北海道再生推進会議が「期限を区切り鉄路存廃の結論を」とする有志声明を行い、2 月の北海道交通政策審議会では「維持困難路線のあり方」を含む北海道交通政策総合指針原案が明らかにされています。

これに対し、「道民にひらかれた論議がなされないまま、結論を急ぐすめ方は断じて容認できない」とする道内の

大学研究者がよびかけ人となって全道連絡会が発足、連合北海道、平和運動フォーラム、道労連が中心となった「北の鉄路存続を求めるとる会、各地の「JR 存続を求めるとる会」などが共同する道民署名がスタートしました。

「乗る人だけ」「地域だけ」の問題でない JR 問題

◎鉄道の存続は住民の道理ある願いであり、決して地域エゴではありません。

◎地域協議会に結論を急がせていますが、JR 問題は各路線ごとに定められる性質のものではありません。全道民が参加する開かれた場で時間をかけて議論が尽くされるべきです。

◎JR 北海道の危機の打開には、国が責任をもって対処すべきです。

この認識をすべての道民や諸団体が共有し、オール北海道の世論をまきおこして運動を進めようと呼びかける「道民署名」を、職場、地域から大きくすすめましょう。

「第 1 次集約」は 4 月末まで。3 月 8 日の記者会見（写真上）では「道民の 1 割、50 万人をめざす」目標が表明されました。集まった署名はそれぞれ最寄りの団体や労組、「地域の会」、「北の鉄路存続を求めるとる会」「全道連絡会」にお届け下さい。



3/23 (金) 昼 JR 札幌駅前署名と道交渉へ！

● 「道指針案」見直し求める「北の鉄路」道申し入れ 13:30 道庁1 Fロビー集合

● 北の鉄路存続！ 札幌駅前宣伝・署名行動 JR 札幌駅南広場 12:15～12:45